



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

ホッケー部が、高校総体で優勝！アクシデントによるキーパー不在の時間も伝統の粘り強い守備で防ぎ3-1の接戦を制し、「4年連続22回目のインターハイ出場」を決めました。

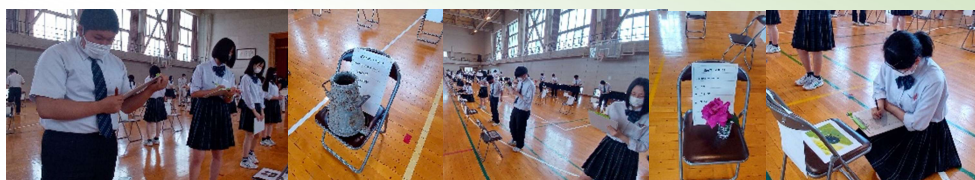


1 「農業鑑定競技会」で競う人たち。

6月14日(月)。表記競技会を開催。内容は学科毎の実技と筆記。一月後に第二回競技会が行われ、全学年オープンで二回分の点数を元に各生徒の成績を確定。各学科の成績上位者を対象とする学科長面談を経て全国大会出場者が選抜されます。実技試験は40問。それぞれ20秒で回答しなくてはなりません。筆記試験は本校オリジナル。全国大会は実技試験のみですが、勝ち抜くための強化策として本校では独自に実施しています。また、5月末から本競技会に向けた教材等が廊下に多数並べられるなど、全国大会で勝ち抜き優勝しようとする本校の誇らしい伝統が随所に感じられます。生徒達の戦いはまだまだ続きます。

【目次】

- 1 農業鑑定競技会
- 2 インターンシップ
- 3 進路ガイダンス
- 4 地域貢献活動
- 5 地域の子供達と交流
- 6 「農ク」意見発表会
- 7 学校評価アンケート①
- 8 ホッケー部東北大会優勝
- 9 置農植物園
- 10 YouTube「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム



2 インターンシップで学ぶ人たち。

6月9日(水)から3日間、30超の企業や団体等の皆様に協力賜り、2年生がインターンシップに臨みました。5月中旬以降地域内で新型コロナウイルス感染報告が増加していたため実施の可否について直前まで検討を重ね、感染予防策を強化して実施。業務内容の特性上見送らざるを得ない企業様も複数ありましたが、「来年はぜひ受け入れるから」と温かな言葉を皆様から頂戴できました。高校2年生にとって本事業は職業選択だけでなく、社会人として生きる心構えの習得等、とても大きな意義を有します。地域の愛をしっかりと体感できた生徒たちの成長を強く期待しています。



3 進路がバンスで決意する人たち。

6月10日(木)。1年生の進路がバンスを実施しました。うたがみアガミの佐藤先生から「目標を見つけること」「生活を楽しむこと」「何かに挑戦すること」などの激励とともに、「主体的に情報収集すること」や「自分で考えるクセを身に付けること」など、分かりやすく丁寧に指導して頂き、皆熱心に拝聴。「聞く力を持つことができれば、理解力が2.7倍に向上することを知り、今後、他者の話を丁寧に聞くようにしようと思いました」等の報告がありました。メモをとるなど参加態度も良好。卒業後の社会生活に向けて「はじめの一步」を踏み出したようです。



4 地域貢献活動に励む人たち。

本校では地場産品を使っでの製造加工にも挑戦し、野菜や花苗、卵などとともに販売しています。6月12日(土)は「こまつ市」でジャムやジュース、紅大豆と米沢牛を使ったキーマカレー、プリンやワッフルなどのスイーツも販売。開始時刻前から長蛇の列ができる大盛況でした。育てた作物や加工品への評価を実感しつつ、購入してくださる方々の笑顔や「頑張ってるね」との温かな労いに励まされ、向学意欲や自己有用感、地域への感謝の心が日々育まれています。また、本校では地域への恩返しも兼ねて、周辺の植栽や雑草刈払い等の活動も伝統的に実践しています。



5 地域の子ども達を導く人たち。

6月12日(土)。長井市立西根小学校2年生児童と保護者の方々が施設見学に来校されました。本校の生徒達は牛や鶏、うさぎやポニーとのふれあいに加えて、バター作りや乾草ラップへの落書きなど、子ども達が喜ぶ体験活動を準備。畜舎を説明したり牛のブラッシングを指導したりする生徒、ポニー乗馬を支える生徒、「卵を拾ってごらん」と声掛けする生徒の姿を見た保護者の方から「置農の生徒はどうしてこんなに堂々としているの?」と声を掛けられ、とても誇らしく感じました。一方で「でも、動物たちがストレスを感じているようで可哀そう」とつぶやく女子生徒も。本当に心根の優しい生徒達です。



6「農業クラブ」意見発表会で奮う人たち。

身近な問題や将来への抱負などについて意見を交わし、問題解決のための自主的・積極的な態度と能力を養うことを目的とする「意見発表会」を実施しました。各学級の選考会を勝ち抜いた生徒等10名が経験や想いを見事に発表し合い、「食と愛をつなぐ紅大豆本舗プロジェクトから学んだこと～農福連携はコロナ禍から子どもたちを救う～」と題して発表した食料環境科3年の高橋小雪さんが最優秀賞に選出され、3年皆川君、鈴木さん、2年菅井さんとともに県大会に出場しました。高橋さんは県大会でも最優秀賞を獲得し、後日行われる東北大会に進みます。



7 学校評価アンケート①の概況。

保護者の皆様、件名アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。

概況は生徒、保護者それぞれの満足度が80p超(最大100p)と概ね良好でした。生徒の評価が特に高かった部門は「部活動」89p、1年生に限っては95p。保護者の評価が特に高かった部門は「情報発信」86.5p。学年学科を問わず高く評価されており、研究成果物や「置農フェス」を高く評価して頂いています。「本校は地域から信頼されている」との評価も85pでした。一方、いくつかの課題も散見されましたので、本調査を契機として今後一層の充実に努めてまいります。



8 部活動で奮う人たち。

「何とか勝ち切ることができました。」勝利を電話で伝える監督の声が、明らかに高揚しています。聞けばしびれるほどの熱戦で、幸先よく2点先制したものの、1点返された後は一進一退の攻防が繰り返され、終盤待ちに待った追加点を獲得。喜びもつかの間、アディショナルタイムでキーパーが退場。フィールドプレイヤーを



キーパーにおくこともできたようですが、ユニフォームを着替える間、数分間相手より2人少ない状態になることをさけ、キーパーなしで戦うことを決断。全員死にもの狂いで耐え抜き、見事、1stラウンド出場を果たしました。その後多くの選手はU18日本選抜に招集され、休む間もなく遠征です。若者たちの挑戦はまだまた続きます。全国大会の活躍をご期待ください。

9 「置農植物園」の草花と昆虫

ようやく職場にも慣れ、校内を散策したり、共有サーバーを閲覧したりする余裕が出てきました。そこで見つけたのが「置農植物園」というフォルダ。四季折々のきれいな草花や可愛い昆虫たちが沢山記録されていました。その一部を紹介するので、ぜひ本物を観察にご来校ください。本校最大の魅力は素直で元気な生徒達と、専門性が高く優しい職員集団ですが、多様な魅力が潜在しているようで、新たな発見を毎日楽しんでいます。



10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>)に加えてYouTube (「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード) でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・働き方改革は教育改革の第一歩・・・

「過去の教頭先生はもっと忙しそうでしたよ」との指摘を受け、失念している業務がないか不安になっていると、「教頭席の回覧物大幅削減」が判明。年度当初は事務部から転送されるメールの添付資料が紙媒体でも回っており、赴任初日に嫌気がさして事務部に廃止を懇願。そのこと自体を失念していました。聞けば、昨年までは午前中一杯押印作業に忙殺されている教頭先生の姿が常に見撃されていたとのこと。2か月前の自分に改めて感謝です。おかげで授業や部活動を見学したり、先生方と談笑したりできています。

今後の予定

【 8 月 】

12 木 代休【7/22分】

13 金 学校閉庁日

1stラウンド富山大会

サッカー部(～18水)

16 月 学校閉庁日

24 火 始業式

【 9 月 】

6 月 就職応募受付開始

7 火 全校ボウリング②

8 水 スクールサリツグ

9 木 壮行式

11 土 地区新人戦(～12日)